

4月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
キャベツ類	16,690	100	17,468	131	76	119	-	0.0	神奈川、愛知、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。各産地とも、これまでは低温の影響による生育や肥大の遅れが見られるものの、気温の上昇とともに回復してきており、今後は出荷時期が早まる可能性もある。全体の入荷量は前年並み、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
だいこん	10,404	102	10,761	140	64	103	-	0.0	千葉、神奈川県産中心で全体の約9割を占める。千葉は11月以降の低温の影響で生育がやや遅れているものの、気温の上昇とともに回復してきており、出荷量は前年並みとなる。神奈川は3月中旬時点で出荷進捗率は約8割となっており、4月上旬で終了予定。全体の入荷量は前年並み、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
きゅうり	6,821	103	7,074	246	93	250	5	0.1	埼玉、群馬、千葉、茨城、宮崎産中心の入荷となる。関東産は3月に入ってから気温の上昇により、生育、着果状況とも良好で、出荷量は前年並みとなる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
トマト	5,928	103	6,446	472	68	408	-	0.0	栃木、熊本、愛知、千葉産中心の入荷となる。関東産は3月に入ってから気温の上昇により、生育、着果状況とも良好で、出荷量は前年をやや上回る。九州産も着荷状況は良好で、順調な出荷となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
はくさい	6,052	103	6,030	93	65	91	-	0.0	茨城産中心の入荷となる。茨城は植え付け当初は生育遅れが見られたものの、3月に入ってから気温の上昇により生育は前年並みに回復してきている。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
ねぎ	3,754	100	4,033	255	94	276	-	0.0	千葉、埼玉、茨城産など関東もの中心の入荷となる。千葉は生育良好で、土寄せ作業も順調に進んでいる。埼玉は若干細め傾向であるものの、気温の上昇により生育は回復してきている。全体の入荷量は前年並み、価格はかなり前年を下回る見込み。
ほうれんそう	1,239	100	1,269	413	92	455	-	0.0	群馬、埼玉、茨城、千葉産など関東もの中心の入荷となる。群馬は低温による生育遅れが一部に見られるものの、生育は概ね順調である。他の関東産は病害虫の発生が少なく、品質も良好である。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。